

出題分析			
試験時間	75 分	配点 : 150 点	大問数 2 題
分量 (昨年比較) [減少	[同程度	増加]	難易度変化 (昨年比較) [易化 [同程度
【概評】 〈現代文〉 問題文の分量・設問形式ともに例年どおりの出題。2024 年度同様、現代文は 1 題のみの出題であった。 〈古文〉 有名出典からの出題。問題文の分量・設問形式ともに例年どおりの出題といえる。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
一	現代文 (評論) 福永健一 「なぜラジオは親密なメディアか」 ○行数 : 123 行	ラジオというメディアが独特な「親密さ」をもっている所以について述べた文章。(一)の内容説明問題は「不適當なもの」を選ぶことに注意する。(四)の内容説明問題は、ラジオというメディアの特徴を述べている個所に着目する。(五)の内容合致問題の選択肢 4 は「ラジオ放送の本流」に留意する。(六)の記述問題は、設問の「新たにもたらした」という表現に注意する。 ※ (昨年度) 評論、112 行、7 問 (7)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準
二	古文 (鎌倉・擬古物語) 作者未詳 『住吉物語』 ○行数 : 24 行 ○和歌 2 首を含む	少将が、結婚相手の姉である姫君に強く思いを寄せるも、冷たくあしらわれる場面。(一)の語句問題は標準。(二)の内容説明問題は「よもとこそ」の解釈に注意する。(三)は、和歌の修辞法に関する基礎知識を問う設問。(六)の内容合致問題の選択肢 4 は「少将の手紙を読んだ」が不適當。(七)の記述問題は、問題文中の侍従の発言を踏まえるとよい。 ※ (昨年度) 江戸・歌文集、18 行、7 問 (9)	標準 〈問題文〉 標準 〈設問〉 標準

※「行数」は問題文の行数。同志社大学の問題文は通常 57 字/行 (20 行/頁)。

※昨年度のデータは、同一日程の試験問題にもとづく。

設問構成 (設問数・形式・内容)													
大問 番号	設問数 (枝問総数※)	選択式 枝問数	記述式 枝問数	漢字	内容 説明	理由 説明	全文 把握	空欄 (脱文) 補充	主語 確認	現代 語訳	訓読 訓点	語句 文法 知識	その 他
一	6問 (6)	5	1		5>1		1						
二	7問 (8)	7	1		1		2>1			1		3	1※

※「枝問総数」は、各設問（小問）に含まれる枝問も個々に数えた場合の全設問（小問・枝問）の総数。設問形式・内容別の設問数も、これと同様の方法で算出した（ただし漢字の読み・書き取りの設問は、枝問に分かれている場合も設問単位で「1問」と数える）。

※「設問内容」の「>」の後の**太字斜体の数字**は、記述式の枝問数を示す。

※「その他」の「1」は、和歌の修辞を問う問題 (三)。

合格のための学習法
<p>〈現代文〉</p> <p>基本的に選択肢は素直なものが多いが、なかには内容を丁寧に検討する必要がある設問もあるので、細部までしっかり確認しよう。また、最終設問の記述問題に多くの時間を割けるよう時間配分も意識しよう。</p> <p>〈古文〉</p> <p>現代語訳や内容説明問題に加えて、文法問題も必ず出題されるので、読解力・知識の双方をきたえておくことが重要である。</p>